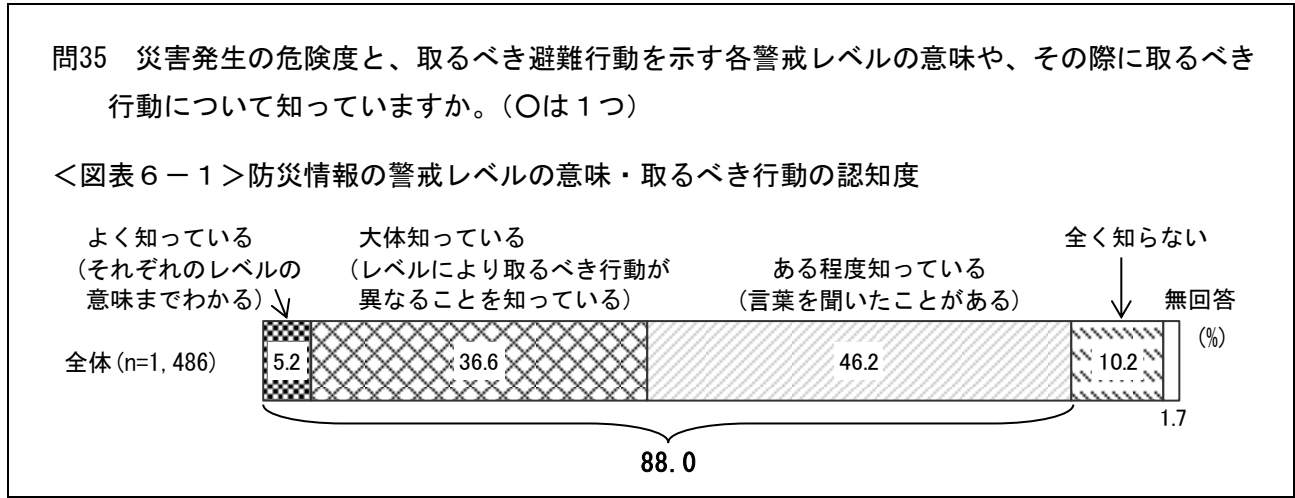


## 6 防災に関する取組について

### （１）防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度

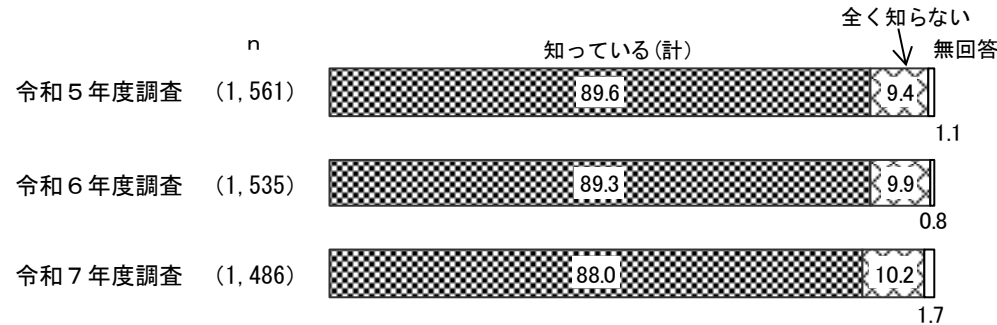
◇『知っている（計）』が約９割



水害・土砂災害の防災情報の伝え方で、各警戒レベルの意味や、その際に取るべき行動について知っているか聞いたところ、「よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）」（5.2％）と「大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）」（36.6％）、「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）」（46.2％）の３つを合わせた『知っている（計）』（88.0％）が約９割となっている。

一方、「全く知らない」（10.2％）が１割となっている。（図表６－１）

【参考】令和５年度・６年度の同様の項目による調査結果（単位：％）



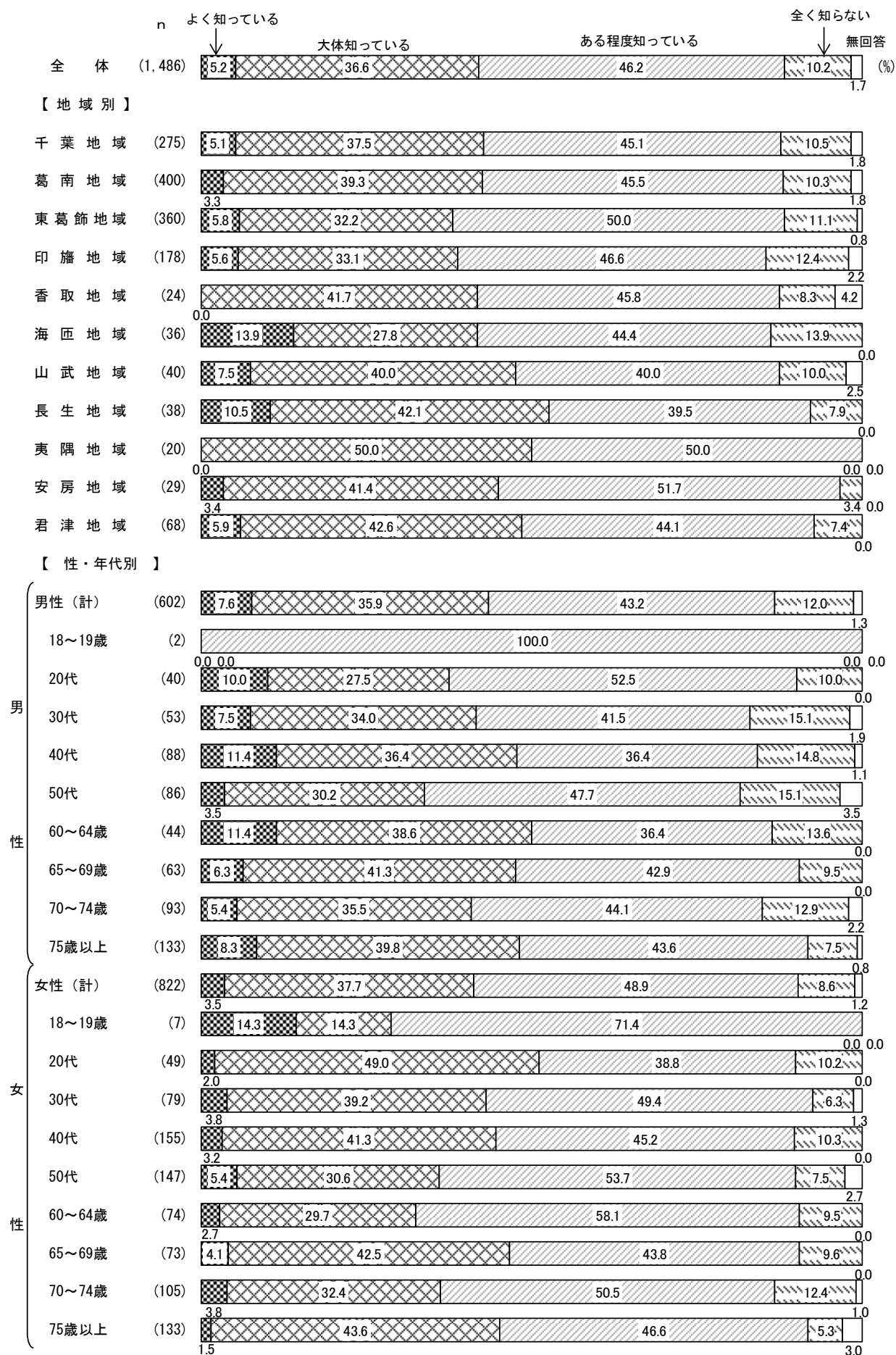
#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表６－２）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表６－２）

＜図表 6－2＞防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度／地域別、性・年代別



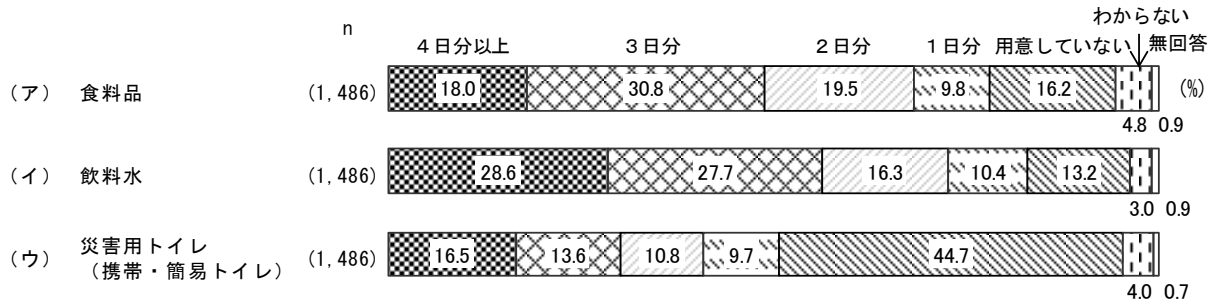
## （２）飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況

◇『用意している（計）』が最も高いのは＜飲料水＞で８割を超える

問36 あなたの家では、災害時に利用できる食料品等を何日分用意していますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

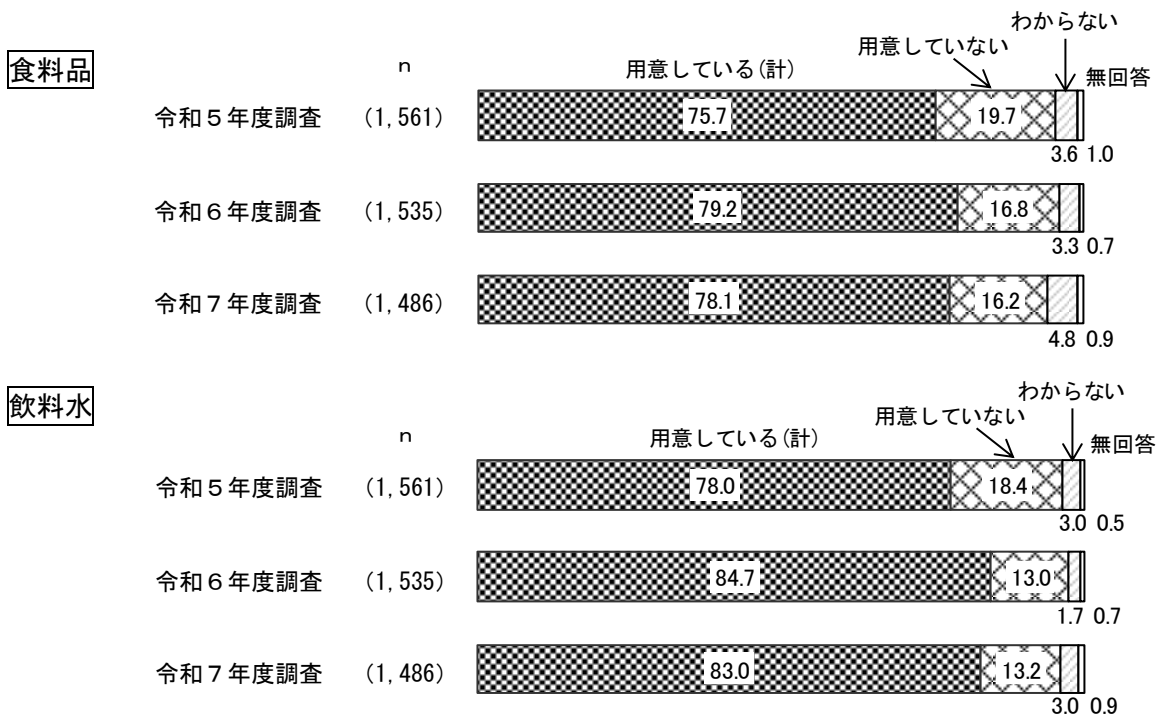
＜図表６－３＞飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況



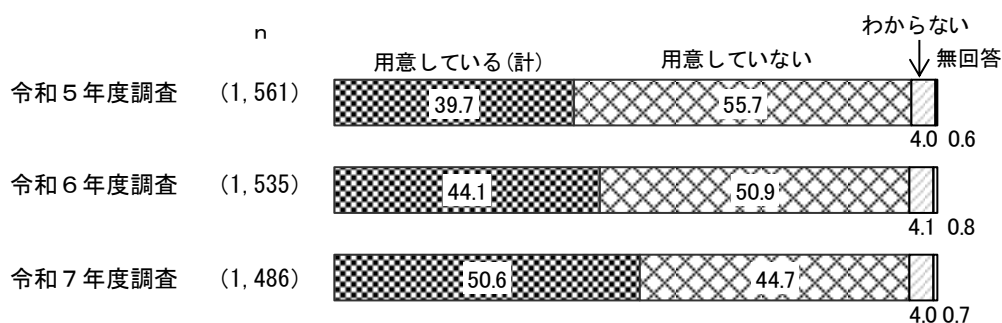
災害時に利用できる食料品等を何日分用意しているか聞いたところ、「４日分以上」、「３日分」、「２日分」、「１日分」の４つを合わせた『用意している（計）』が最も高いのは、「（イ）飲料水」（83.0％）で８割を超え、以下、「（ア）食料品」（78.1％）が約８割、「（ウ）災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」（50.6％）が５割となっている。

一方、「用意していない」が最も高いのは、「（ウ）災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」（44.7％）で４割台半ばとなっており、以下、「（ア）食料品」（16.2％）が１割台半ば、「（イ）飲料水」（13.2％）が１割を超えている。（図表６－３）

〔参考〕令和５年度・６年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）



【地域別】

地域別にみると、「(ア) 食料品」を「用意していない」は“海匠地域”（33.3%）と“長生地域”（31.6%）が3割を超えて高くなっている。

「(イ) 飲料水」で大きな傾向の違いは見られない。

「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」を『用意している（計）』は“東葛飾地域”（57.2%）が約6割で高くなっている。

一方、「用意していない」は“海匠地域”（69.4%）と“長生地域”（68.4%）が約7割で高くなっている。（図表6－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 食料品」を『用意している（計）』は女性の60～64歳（89.2%）が約9割で高くなっている。

「(イ) 飲料水」を『用意している（計）』は男性の65～69歳（92.1%）が9割を超えて高くなっている。

一方、「用意していない」は女性の40代（19.4%）が約2割で高くなっている。

「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」を『用意している（計）』は女性の50代（61.2%）が6割を超えて高くなっている。

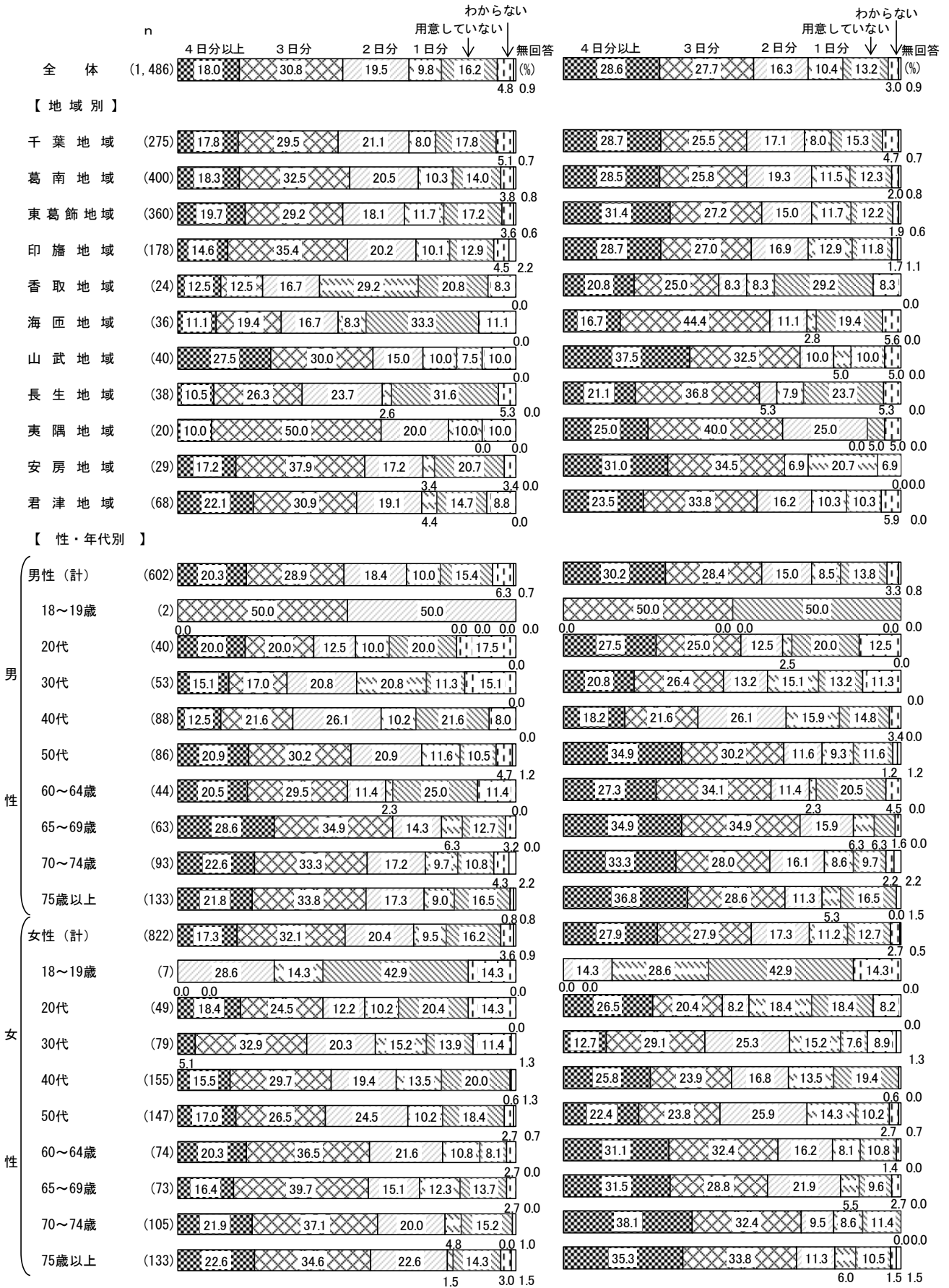
一方、「用意していない」は男性の75歳以上（56.4%）が5割台半ばで高くなっている。

（図表6－4）

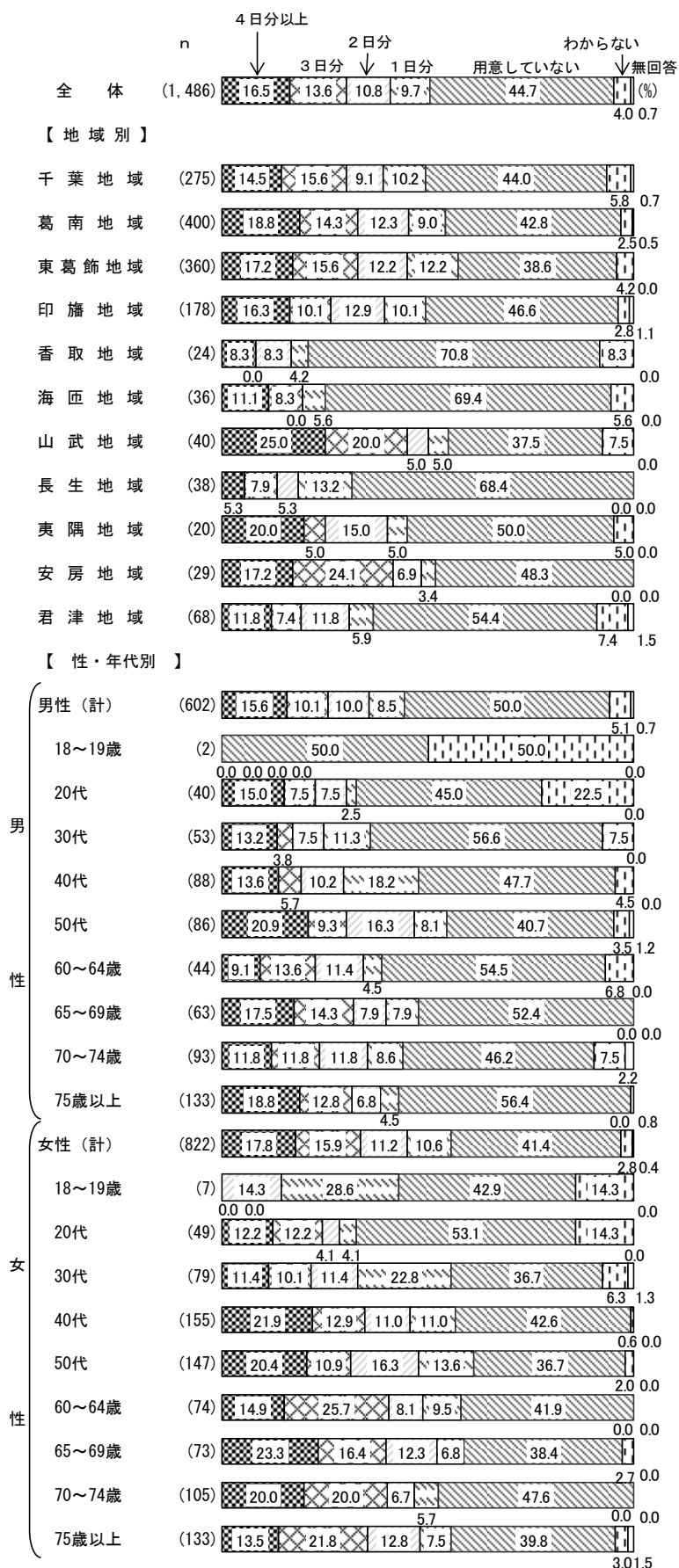
＜図表 6－4＞飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況／地域別、性・年代別

（ア）食料品

（イ）飲料水



（ウ）災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）



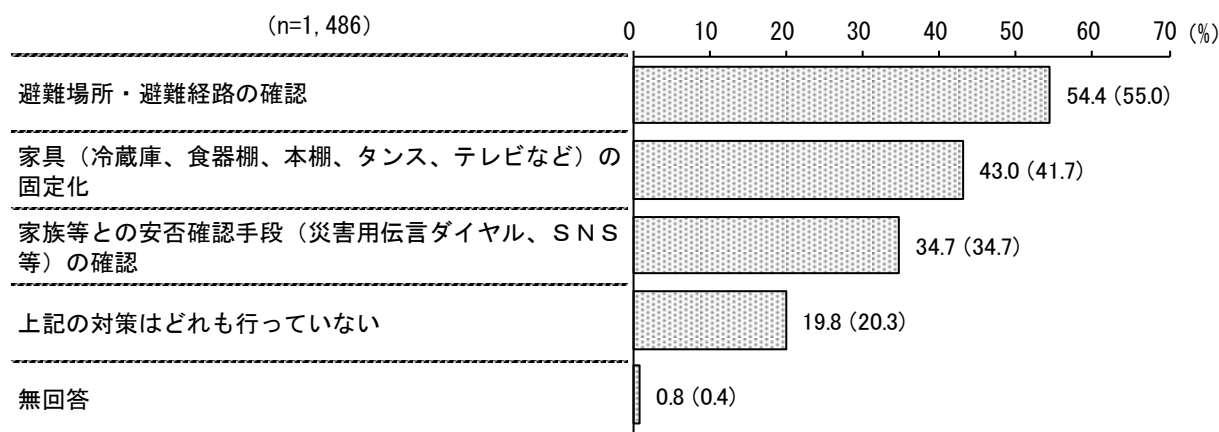
### （３）地震や台風などの災害への対策

◇「避難場所・避難経路の確認」が５割台半ば

問37 あなたは、地震や台風などの災害に備えて、次の対策を行っていますか。

（○はいくつでも）

＜図表 6－5＞地震や台風などの災害への対策（複数回答）



注）（ ）の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,535

地震や台風などの災害に備えて、どのような対策を行っているか聞いたところ、「避難場所・避難経路の確認」（54.4%）が５割台半ばで最も高く、以下、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（43.0%）、「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS等）の確認」（34.7%）が続く。

一方、「上記の対策はどれも行っていない」（19.8%）が約２割となっている。（図表 6－5）

#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表 6－6）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「避難場所・避難経路の確認」は女性の75歳以上（63.9%）が６割台半ばで高くなっている。

「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は男性の75歳以上（54.9%）が５割台半ばで高くなっている。（図表 6－6）

＜図表６－６＞地震や台風などの災害への対策（複数回答）／地域別、性・年代別

